



# バレンタインデーに思う

バレンタインデー（St. Valentine's Day）は、269年にローマ皇帝の迫害下で殉教した聖ウァレンティヌス（バレンタイン）に由来する記念日であることから、世界各地で男女の愛の誓いの日とされています。その形は、国によって様々ですが、日本では、女性が男性にチョコレートを渡すことによって愛を伝える日として受け止められています。愛するということは人間として大切な心であり、人間らしい心が失われつつある今の時代だからこそ、愛を伝えるという行為はとても素晴らしいことだと思います。

ところが、最近は、上司や同僚などの恋愛感情を伴わない相手に贈る「義理チョコ」、女性が女性へ贈る「友チョコ」、男性が女性に贈る「逆チョコ」など、様々な展開で消費の活性化が図られています。また、チョコレートにこだわらず、クッキーなどを贈る人もいます。このように、商業活動が活発になるとともに、マスコミ等の刺激を受けて、愛を伝えるという行為よりも、チョコレートを渡すという行為だけが目立ち、だれにでも渡したり、催促したりする光景も見かけます。また、「もらった・もらわない」「あげた・あげない」で、人間関係が壊れてしまうケースもよくあります。それはまるで、チョコレートという商品で、人の心をもて遊んでいるようにも思えます。

「愛する」とは、「好き」というだけでなく、相手を「大切にする」という気持ちも込められています。この日の意味を本当にわかっているのなら、トラブルを起こしたり、校内にチョコレートの紙くずが落ちていたりすることはないはずです。「愛する」ことの意味をしっかりと考える一日であってほしいと思います。

## ミュージカル「ホーム～はじめてテレビがきた日～」

学習の診断が終わった翌日2月16日、文化庁主催の「子どものための優れた舞台芸術体験事業」があり、マリンウェーブで、音楽座ミュージカル「ホーム～はじめてテレビがきた日～」を鑑賞します。昭和30年代が舞台となり、温かい家族の姿が描かれています。10時から第1幕が始まり、途中休憩をはさんで、カーテンコールが12時20分という大がかりな舞台となります。生のオーケストラも入ります。

そこで、詫間中学校からマリンウェーブまでを自転車移動します。いつも徒歩通学をしている人も、この日は自転車で登校してきてください。なお、スクールバス利用者は、スクールバスで移動します。

また、今回は、詫間中学校と三野津中学校の全校生徒と一緒に鑑賞することになります。インフルエンザ予防のため、マスクを準備するなど、各自で対策を考えておいてください。

### 連載

### A教頭の「走ることのススメ」④ ～5年越しの約束～

平成11年。この年は、フルマラソン完走に失敗した時に担任していた生徒たちが成人になる年、そして私が彼らのちょうど2倍の40歳になる記念すべき年でもあった。だからこそ、成人式で再会した時に「5年越しの約束を果たしたぞ」と報告したかった。そこで、再びフルマラソンの部にエントリーすることにした。目標があれば、自然と練習にも熱が入る。届いたゼッケンは **1211**。平成12年1月11日の成人式にピッタリの数字である。うれしい報告ができる予感がした。

平成11年11月26日。すべてが5年前のあの日と同じだった。20kmまで1時間55分とまったく同じペース。空の青さも、海から吹いてくる冷たい風もまったく同じ。違っていたのは、折り返してから元気がいっぱいだったということである。リタイアした25kmも笑顔で通り過ぎた。30km過ぎからはさすがにペースは落ちたが、歩くことだけはしたくなかった。最後のきつい坂道も腕をしっかり振って、ゴールする瞬間や生徒たちに報告できる瞬間を思い浮かべながらゴールを目指した。そして、4時間32分で42.195kmを完走することができた。涙がこぼれ落ちそうになった。ずっと見続けた夢が実現した瞬間である。

あれから10年あまり、今も走り続けている。新たな目標として、数年前から丸亀ハーフマラソンにも挑戦している。2年前には1時間59分57秒で、2時間突破という目標も達成した。しかし、詫間中学校に勤務となり初めて迎えた昨年、大会前日に肋骨骨折というアクシデントに見舞われた。20年前の骨折時は足にギブスを巻くだけで普通の生活ができていたが、今回は人生初めての入院を余儀なくさせられ、ベットの上での生活が一週間続いた。マラソンの神様が、走れる幸せをもう一度感じ取れという試練を与えてくださったのかもしれない。

そして、今年、2年ぶりに丸亀国際ハーフマラソンに出場することになった。（つづく；次回最終回）